



# 健康のまちづくり友好都市連盟



## 顧問

本連盟では、各分野でご活躍の先生方にご高配賜り、無償でアドバイザーになっていただいております。適宜アドバイスを受けることが可能です。（特別名誉顧問には、連盟全体の方針へのアドバイスを頂戴しております。）

以下に、本連盟顧問をご紹介します。（50音順）

平成29年4月3日現在

秋山美紀（あきやま・みき）氏

慶應義塾大学環境情報学部政策・メディア研究科/医学部健康マネジメント研究科 准教授  
健康・医療分野のコミュニケーション、コミュニティの健康を専門領域として、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス等で教鞭をとる傍ら、山形県鶴岡市にて、市民のための健康情報ステーション「からだ館」を、2007年より運営している。地元行政や地区医師会、市民ボランティアらと連携しながら、健康な地域づくりに取り組んでいる。がん戦略研究「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」、在宅医療連携拠点事業等にも関わってきた。主な著書は、「コミュニティヘルスのある社会へ「つながり」が生み出す「いのち」の輪」（岩波書店、2013年）、「地域医療を守れ」（岩波書店、2008年）、「価値創造の健康情報プラットフォーム」（慶應義塾大学出版会、2016年）。



猪飼周平（いかい・しゅうへい）氏

一橋大学大学院社会学研究科/社会学部 教授

一橋大学大学院社会学研究科教授、社会政策、医療政策、医療史専攻。1971年生まれ。東京大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。佐賀大学経済学部助教授、一橋大学大学院社会学研究科准教授を経て現職。主な著書に、「病院の世紀の理論」（有斐閣、2010年）。



伊関友伸（いせき・ともし）氏

城西大学経営学部マネジメント総合学科 教授

1987年埼玉県入庁、県立病院課、精神保健総合センターなどを経て、2004年城西大学経営学部准教授に。研究テーマは、行政評価、自治体病院の経営、保健・医療・福祉のマネジメント。著書に「自治体病院の歴史-住民医療の歩みとこれから」（三輪書店）、「まちの病院がなくなる!? 地域医療の崩壊と再生」（時事通信社）など。



尾身茂（おみ・しげる）氏

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO） 理事長

名誉世界保健機関（WHO）西太平洋地域事務局長。自治医科大学名誉教授。1978年自治医科大学卒業。1999年第5代WHO西太平洋地域事務局長。2009年よりWHO執行理事。2012年より独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（RFI）理事長、内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議の長。2014年より独立行政法人地域医療機能推進機構理事長 現在に至る。また社会貢献活動として、組織の利害やイデオロギーにとらわれず将来の社会づくりに貢献すべく2015年9月NPO法人「全世代」を設立。



西上ありさ（にしがみ・ありさ）氏

studioL東京 コミュニティデザイナー

早稲田大学大学院公共経営大学院卒業。2005年よりstudio-L参画。2007年から2012年にかけて海士町のまちづくりに携わる。現在は、プリマリエルスクアのアプローチを尊重し、地域でのコミュニティデザインに取り組む。主な仕事に、住民参加による総合計画の策定、地域の特産品開発・ブランディング、集落診断・集落支援、病院づくり、美術館づくり、地域包括ケアの実践などがある。



堀田聡子（ほった・さとこ）氏

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 教授

東京大学社会科学研究所特任准教授、ユトレヒト大学客員教授、国際医療福祉大学大学院教授等を経て2017年4月より現職。専門はケア人材政策、人的資源管理。博士（国際公共政策博士）。現在、社会保障審議会介護給付費分科会及び福祉部会、地域包括ケア研究会、地域力強化検討会等委員。訪問介護員2級、メンタルケアスペシャリスト、「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2015」リーダー部門入賞。



町永俊雄（まちなが・としお）氏

元NHK福祉ネットワークキャスター 福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」「NHKスペシャル」などのキャスターとして、経済、暮らし、教育、福祉などの情報番組を担当。2004年から「福祉ネットワーク」キャスターとして、障がい、医療、うつ、認知症、家庭など福祉課題を伝える。現在はフリーの福祉ジャーナリストとして高齢社会や地域福祉をめぐり、番組や執筆の他、各地でシンポジウムや講演活動をしている。



和田行男（わだ・ゆきお）氏

株式会社大起エンゼルヘルプ 取締役

1987年国鉄ından高齢者福祉へ。収容・保護（放り込んで・閉じ込めて・何でもしてあげるおせっかい介護）、社会から隔離・生活機能を廃用させてしまう介護）型介護に大いに疑問をもち、生活支援中でも認知症という状態になっても人として最期まで生きる支援の在り方を追求してきた介護福祉士。その活動の一環がNHK番組「プロフェッショナル～仕事の流儀～」で紹介される。著書：大逆転の痴呆ケア（中央法規）ほか



## 特別名誉顧問

イチロー・カワ子氏

ハーバード公衆衛生大学院社会行動科学学部 学部長・教授

1961年東京生まれ。12歳で父親の仕事の関係でニュージーランドに移住。オタゴ大学医学部卒業。同大学で博士号を取得。内科医として周囲で診療に従事。2008年にハーバード公衆衛生大学院社会・行動科学学部長に就任し現在に至る。国際的な科学雑誌である「Social Science & Medicine」の編集長も務める。また、アメリカ医学研究所（IOM）や米国科学アカデミー（NAS）のメンバーに選ばれる。社会疫学の研究に加え、もう一つの大きな使命は日本酒と寿司の素晴らしさを世界中に広めること。

